

**電動バイク先進国・中国から、高性能リチウムイオン電池搭載バイク輸入
株式会社 GLP が「ヴィクーニャ」のブランド名で原付き、小型自動二輪車を
取り外して自宅コンセントで充電、インホイールモーターの 2 駆式
1 kmあたりの電気代は、ガソリン 2 輪に比べ走行コストは 1/4~1/5**

節約志向やエコ志向が強まる中、排ガスや騒音を全く出さず、電池とモーターだけで走る電動バイクが脚光を浴びている。ベンチャー企業 株式会社 GLP（本社・静岡県御前崎市、社長・吉谷 義隆）が、安全基準の厳しいヨーロッパで実績のある高性能な中国製電動バイクの輸入販売事業に乗り出した。ブランド名は「ヴィクーニャ」(Vicuña)。南米アンデス山脈で逞しく生きるラクダの仲間の動物にイメージを重ね合わせて冠している。2010年1月下旬より全国本格発売を開始する。

第一弾として販売するのは排気量 50cc に相当する原動機付自転車（通称・原付き 1 種）の「ラピド」(RAPIDO)、排気量 51cc~125cc クラスの小型自動二輪車（原付き 2 種クラス）の「アクティボ」(ACTIVO) の 2 車種。また運転免許のいらない電動アシスト式の「リストシリーズ」(LIST) タイプ A、同じシリーズでデザインもほぼ同じで原付き免許が必要なフル電動自走式のタイプ M の 2 車種が加わる。

小型軽量、高性能リチウムイオン電池を採用し、本体から簡単に取り外してマンションなど自宅の 100 ボルト家庭用コンセント電源で充電できるのが特徴（車体に取り付けられた小型充電器でも充電できるプラグインの 2WAY 方式）。また「ラピド」、「アクティボ」は前後両輪にインホイールモーター（タイヤのホイール内側にモーターを組み込んだタイプ）を搭載、電動スクーターの最大の弱点トルク不足を解消し、直進安定性も高めている。

「ラピド」に採用されるリチウムイオン電池は 20AH（48V）で重さは 9.5kg、「アクティボ」は 30AH（48V）で 12kg と女性でも持ち運びできる。1 回の充電（約 6~8 時間）で、「ラピド」「アクティボ」ともに最大約 80km（経済速度による平地走行）の距離を走ることができる。1 回のフル充電に要する電気料金は 30 円前後で、1km 当たりの電気代は約 0.4 円前後と一般的なスクーター（ガソリン 10 あたり 70km 走行）に比べて走行コストは 1/4~1/5 で済む。※ガソリン 10 約 120 円で計算



ラピド

製造元は中国浙江省のメーカーで、2007年より電動バイクの生産を始め、アメリカ、カナダ、ギリシャ、イタリア、スペインなどを中心に、これまで2万6千台以上の輸出実績がある。EUの公的機関によるEEC認証も受けている。ヨーロッパでは重く体積も大きな鉛電池（約150～200回の充電可）が主流であるが、日本市場向けにより高性能のリチウムイオン電池（500回～600回の充電可）搭載モデルとして徹底改良を加えている。製造開始の2007年からメーカーでは、平地走行はもちろん、200kgの重りを搭載しての登坂テスト（登山道を山頂まで）など、徹底的な走りこみを行っている。また、安全性においても、各パーツの耐久テストやバッテリーの発火・発熱試験を繰り返している。

電動バイクは二酸化炭素（CO₂）や窒素酸化物（NO_x）を出さず、発電や製造時を含めてもCO₂排出量はガソリン車の半分と少ない。株式会社GLPでは、節約志向やエコ志向が強まる中、一般ユーザーにアピールするとともに、騒音解消のために新聞配達店などに業務用として拡販していく方針。

すでに本社近くにショールームを開設（11月）しているが、今後は東京など主要都市にショールームを新設し、全国に販売店を拡充していく方針。自動車販売店、オートバイ販売店などのほか、ガソリンやオイルなど油臭くなく、清潔感があり、メンテナンスも容易なため家電感覚の商品としてショッピングセンター、自転車店、電器店などでの販売も開拓する。初年度の販売目標台数2,000台。

保証はタイヤ以外、バッテリーを含めて1年間（バッテリーの容量低下は保証対象外）。オプションとして後部キャリア、リアトランク、盗難防止アラーム、ディスクロック、スペアバッテリー、Lサイズバッテリー（600Wのみ）などを用意、今後はサーファー向けにボードキャリア等を検討している。

また、3月以降に第二弾として3機種を追加発売の予定。



計器周り、左のスピードメーターは時速60kmまで表示。右側は燃料計の代わりにバッテリー残量計が表示される。



本体から取り外してマンションなど自宅の100ボルト家庭用コンセント電源で充電できるほか、プラグインでの充電も可能。

「ヴィクーニャ」(Vicuña) 製品概要

ラピド 600 (RAPIDO 600)

原付 (600W) タイプ。シリーズ中最も長い時間をかけて走行テストを行っている。シンプルで飽きのこないデザインが特徴。

クラス	原付クラス
モーター	295W+300W デュアルモーター (二つのモーターで 600W 以下)
バッテリー	48V20AH リチウムイオンバッテリー (30AH オプション)
ブレーキ	前輪油圧式ディスクブレーキ 後輪機械式ドラムブレーキ
チャージャー	AC100~110V 電源
充電時間	6~8 時間
最高速度	50 km/h
航続距離	最大約 80 km 通常走行時 約 50km
登坂性能	30%~35%
サイズ	1830×680×1130mm
重量	112kg
主要装備	・コンビニフック・フロントグローブボックス・セーフティーロック付きサイドスタンド・重量センサー付きセーフティーシート・シート下トランクスペース・盗難防止アラーム (オプション)・盗難防止ディスクロック (オプション)・リアトランク (オプション)
カラー	■ダイヤモンドブルー■ワインレッド■ブラック■イエロー ■ホワイート■シルバー
本体価格	289,000 円 (税込み)



シート下にはバッテリーを収納し、かつ大容量のトランクスペースを確保。ヘルメットなどの収納が可能。(ヘルメットの形状、大きさによって収納できない場合があります。)

アクティボ (ACTIVO)

125CC (1,000W) クラス。お転婆、活発の意味を持つアクティボ。ヨーロッパでも人気の高いスタイリッシュでキュートなデザインに似合わない、パワフルな高性能モデル。

クラス	125CC クラス
モーター	495W+500W デュアルモーター (二つのモーターで 1000W 以下)
バッテリー	48V30AH リチウムイオンバッテリー
ブレーキ	前後輪油圧式ディスクブレーキ
チャージャー	AC100~110V 電源
充電時間	6~8 時間
最高速度	60 km/h
航続距離	最大約 80km 通常走行時約 50 km
登坂性能	30%~35%
サイズ	1830×680×1130mm
重量	112kg
主要装備	・コンビニック・フロントグローブボックス・セーフティーロック付きサイドスタンド・重量センサー付きセーフティーシート・シート下トランクスペース・盗難防止アラーム (オプション)・盗難防止ディスクロック (オプション)・リアトランク (オプション)
カラー	■ブルー×ホワイト ■ブラック×ホワイト ■ライトブルー ■レッド ■ホワイト
本体価格	389,000 円 (税込み)



インホイールモーターの採用で、エンジン、ミッションなど、タイヤ以外の駆動系部品一切が不要になっている。



前輪にもインホイールモーターを搭載。前後輪両輪を駆動させる事により、トルク不足を解消。直進安定性も同時に向上させた。

エンジンブレーキの効かない電動スクーターでは、ブレーキ性能が重要になる。そこで、全車前輪に油圧式ディスクブレーキを装備。アクティボは後輪にも装備している。

リストシリーズ (LIST)

リストは、電動アシスト式のタイプ A に加えて、フル電動自走式（原付登録）のタイプ M もラインアップ。市街地の狭い路地や坂道はもちろん、折りたたんで車に積み込めばリゾートでも大活躍する 16 インチ・ミニサイクル。

タイプ	タイプ M (原付登録)	タイプ A
	フル電動自走式	電動アシスト式
モーター	200W ブラシレスモーター	200W ブラシレスモーター
バッテリー	24V10AH リチウムイオンバッテリー	24V10AH リチウムイオンバッテリー
ギア	シマノ製 6 段変速ギア	シマノ製 6 段変速ギア
チャージャー	AC100~110V 電源	AC100~110V 電源
充電時間	6~8 時間	6~8 時間
最高速度	20 km/h	20 km/h
タイヤサイズ	16inch	16inch
本体価格	128,000 円 (税込み)	118,000 円 (税込み)
カラー	■ブルー×シルバー ■レッド×シルバー ■シルバー×シルバー	
注記	最高速度はモーター走行時の速度	アシスト機能の有効速度



折りたたんで車に積み込めばリゾートでも大活躍

ブランド名の「ヴィクニーヤ」について

ブランド名の「ヴィクニーヤ」は、南米アンデス山脈に住むラクダの仲間「ヴィクニーヤ」にちなんでいる。「幻」とも呼ばれる極めて稀少な動物で、その体を覆う体毛は「神の糸」「繊維の宝石」と称される。標高 4,000m以上、空気の薄い高山を時速 1 km で走り、気象変化の激しい苛酷な自然環境の中、僅かしかない草と水で逞しく生きるその姿に、私たちは次世代スクーターのイメージを重ね合わせ、電動スクーターに「Vicuña」の名を冠しました。

運転免許との関係

第一種原動機付自転車の範囲は、電動機の場合、定格出力 600W までに限られる。この範囲の電動スクーターであれば、原付免許または普通運転免許で運転できる。それを超える 600W 超 1000W 以下を第二種原動機付自転車とし、普通自動二輪（小型限定）以上（普通自動二輪免許又は大型自動二輪免許）が必要となる。

中国の電動バイク事情

電動バイクの普及は中国が先行している。目覚ましい経済成長や自治体の環境規制（広州市など地方の大都市では、軍や警察を除きガソリンで走るバイクの乗り入れが禁止）になっている。かつて町中にあふれていた自転車やガソリンエンジン二輪車の電動バイクへの移行が急速に進んでいる。中国の法律では、定格 350W に満たないモーターで最高時速 25km までの電動バイクなら自転車とみなされる。免許不要で、ナンバーもいらない、ヘルメットもいらない。そんな手軽さも手伝って、自転車の代替品としての需要が高まっている。自転車にモーターを取付けただけの簡単なものを含めると、すでに 1,000 万台を超える電動バイクが普及している。（2006 年の市場規模は 1300 万台/年との情報もあり）

中国では自転車がベースのものやエンジンバイクがベースのものがあるが、動力源は鉛電池が主流。日本製リチウム電池が 20~30 万円するのに対し、リチウム産出国でもある中国製リチウム電池の値段は日本の約 1/3~1/4 とはいえ、庶民的な価格には程遠い。燃料タンクやエンジンが不要で、部品点数が少なく組み立てが簡単なため、中国農村部でも次々と電動バイクメーカーが設立され、価格競争に拍車をかけている。

株式会社 GLP 会社概要

- 名称 株式会社 GLP（グローバルライフパートナー）
- 本社 静岡県御前崎市池新田 4783-1 〒473-1612 ☎0537-88-5121
- ショールーム 静岡県御前崎市池新田 5862-21 〒473-1612 ☎0537-86-9002
- 設立 2006 年
- 資本金 500 万円
- 代表取締役 吉谷 義隆
- 扱い品目 電動バイク「ヴィクニーヤ」の輸入販売

■URL <http://www.vicuna-web.com/>

一般のお客様のお問い合わせ先は

ショールーム 静岡県御前崎市池新田 5862-21 〒437-1612 ☎0537-86-9002

■この件に関する報道関係者の取材のお問合せは

株式会社 GLP（グローバルライフパートナー） 小林禎嗣／村田 雅樹
■本社 静岡県御前崎市池新田 4783-1 〒437-1612 ☎0537-88-5121
■ショールーム 静岡県御前崎市池新田 5862-21 〒437-1612 ☎0537-86-9002

ヴィクニーヤ東京広報事務局（インフォメーションセンター）

東京都中央区銀座 1-22-10 銀座ストークビル 401
電話 03-3563-3181 FAX 03-3562-5267
佐々木 勉（携帯電話 090-4729-0545） E-Mail sasaki@info-ginza.com
佐々木 創平（携帯電話 090-4727-4167） E-Mail sohei@info-ginza.com

以下URLでリリース使用画像データ（JPEG）がダウンロードできます。

<http://www.info-ginza.com/glp/index.html>